

## 梅雨明けに関するお知らせ

令和元年6月29日  
宮古島地方気象台

(見出し)

沖縄気象台は、令和元年6月29日11時00分に「沖縄地方は、梅雨明けしたと見られる」と発表しました。

(本文)

沖縄地方は、太平洋高気圧に覆われて晴れています。  
向こう一週間も、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。  
このため、沖縄地方は、6月29日ごろに梅雨明けしたと見られます。

(参考事項)

平年の梅雨明け 6月23日ごろ  
昨年の梅雨明け 6月23日ごろ

梅雨期間降水量（5月16日から6月28日まで）（速報値）

	降水量（ミリ）	平年値（ミリ）
宮古島	202.5	295.3
鏡原	231.5	273.0
城辺	199.5	303.8
下地	154.5	321.7
仲筋	177.0	307.4

(注意事項)

- ・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本情報で発表した期日が変更となる場合があります。

「梅雨の時期に関する沖縄地方気象情報 第2号」の解説(訂正)

1 梅雨明けの発表

沖縄地方は、6月29日ごろに梅雨明けしたと見られることから、沖縄気象台は本日11時00分に「梅雨の時期に関する沖縄地方気象情報 第2号」を発表しました。

2 今年の「梅雨明け」は6月29日ごろ(階級:遅い)

平年より6日遅く、昨年より6日遅い

(1) 平年は6月23日ごろ

(2) 昨年(平成30年)は6月23日ごろ(階級:平年並)

(3) 1951年(昭和26年)からの統計

ア 最も早い梅雨明けは2015年(平成27年)の6月8日ごろ

イ 最も遅い梅雨明けは1976年(昭和51年)の7月9日ごろ

【参考】

梅雨明けの平年及び階級

	平年	かなり早い	早い	平年並	遅い	かなり遅い
梅雨明け	6/23ごろ	～6/17ごろ	6/18ごろ ～6/20ごろ	6/21ごろ ～6/23ごろ	6/24ごろ ～6/29ごろ	6/30 ごろ～

(統計期間 1981～2010年)

注) 梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。

3 今年の梅雨期間(5月16日～6月28日)の降水量(速報値)、平年値及び平年比

官署名	実況値(ミリ)	平年値(ミリ)	平年比(%)
那覇	711.0	379.0	188
名護	798.0	370.8	215
久米島	830.5	430.2	193
南大東島	614.0	314.8	195
宮古島	202.5	295.3	69
石垣島	219.0	327.7	67
西表島	218.5	292.2	75
与那国島	301.5)	275.7	109

※:「)」は準正常値であることを示し、正常値として扱う。

4 今年の梅雨期間(5月16日～6月28日)の日照時間(速報値)、平年値及び平年比

官署名	実況値(時間)	平年値(時間)	平年比(%)
那覇	164.9	221.0	75
名護	166.2	211.4	79
久米島	175.8	217.7	81
南大東島	209.4	278.8	75
宮古島	202.7	250.9	81
石垣島	229.1	269.3	85
西表島	224.1	265.9	84
与那国島	169.8)	236.0	72

## 5 今年の梅雨の特徴

沖縄地方は、5月16日ごろに梅雨入りしたと見られ、6月29日ごろに梅雨明けしたと見られます。梅雨期間は44日間となりました。

5月の沖縄地方は、気圧の谷や前線などの影響で曇りや雨の日が多くなりました。降水量は平年を上回り平年並みで、沖縄地方の地域平均平年比<sup>\*</sup>は122%と多くなり122%で平年並みとなりましたが、与那国島で日降水量437.5mm、日最大1時間降水量98.5mmを観測し(13日)、5月としての極値を更新しました。日照時間は、沖縄本島地方と大東島地方の観測点で平年を上回り、先島諸島の観測点で平年を下回りました。沖縄地方の地域平均平年比は、95%と少なくで平年並みとなりました。

6月の沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や梅雨前線などの影響で曇りや雨の日が多く、荒れた天気や大雨となった所がありました。沖縄地方の降水量は平年を上回り、11日は旧東(南大東空港)で289.5mm、北大東(北大東空港)で213.0mmの日降水量を観測し、旧東では通年として、北大東では6月としての極値を更新しました。26日には、熱帯低気圧が沖縄本島地方を通過し、那覇で138.0mm、名護で91.0mmの大雨となり各地で土砂災害や浸水害が発生しました。また、名護市では突風による被害が発生しました。

梅雨の期間の降水量は、沖縄地方の地域平均平年比125%、日照時間は地域平均平年比79%でした。

※ 沖縄地方の地域平均平年比(差)は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点平均値です。

注) 梅雨に関する気象情報は、現在(発表日)までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本情報で発表した期日が変更となる場合があります。

### 【訂正履歴】

#### ●令和元年7月1日

「5 今年の梅雨の特徴」の記述のうち、次の取り消し線の文言を下線の文言に訂正いたしました。

5月の沖縄地方は、気圧の谷や前線などの影響で曇りや雨の日が多くなりました。降水量は平年を上回り平年並みで、沖縄地方の地域平均平年比<sup>\*</sup>は~~123%~~と多くなり122%で平年並みとなりましたが、与那国島で日降水量437.5mm、日最大1時間降水量98.5mmを観測し(13日)、5月としての極値を更新しました。日照時間は、沖縄本島地方と大東島地方の観測点で平年を上回り、先島諸島の観測点で平年を下回りました。沖縄地方の地域平均平年比は、95%~~と少なく~~で平年並みとなりました。